

伝え合おう ぼく・私の将来の夢

～「What do you want to be?」～ (We Can! 2 Unit8)

本単元で育成する資質・能力

表現力・主体性

○ 平成30年12月13日(木) 第3校時

1 単元について

(1)教材観

本単元は、将来の夢を題材としており、単元の最後には、学級の友達に向けて、将来の夢について紹介し合うという活動を設定している。どのような職業があるのかを確かめたり、自分はどのような職業に就きたいのか改めて考えたりする活動は、自分の将来について具体的に考え始めることができる6年生という発達段階において大変有意義であると考えられる。外国語活動の楽しい雰囲気の中で、児童が互いの将来の夢について伝え合う活動を通して、自分や友達のよさを再認識し、みんなで夢を実現しようとする気持ちを持ったり、友達の夢を応援しようとする気持ちを持ったりすることができる単元である。

(2)児童観

本学級の児童は、第5学年時に年間35時間の外国語活動の授業を受けている。今年度は、外国語活動を年間70時間設定し、1週間に2時間程度の授業を実施している。本単元を実施するにあたり事前調査を行ったところ、次のような結果になった。

調査項目	肯定的評価(割合)
①外国語活動の授業に進んで参加しています。	23/23 (100%)
②外国語活動の授業では、英語を使う場面を考えながら活動しています。	21/23 (91%)
③外国語活動の授業では、日本と外国のくらしや習慣、文化などのちがいを知ることができます。	22/23 (96%)
④相手が英語でゆっくりはっきりと話していれば、どのイラストや写真のことを話しているか分かります。	22/23 (96%)
⑤相手が英語でゆっくりはっきりと話していれば、だいたいの内容が分かります。	22/23 (96%)
⑥英語でやり取りをする時には、相手の言ったことにうなずいたり、英語で返事したりしています。	18/23 (78%)
⑦英語でやり取りをする時には、会話が続くように、知っている表現を使うようにしています。	19/23 (83%)
⑧英語でやり取りや発表をする時には、自分の考えや気持ちなどを伝えています。	18/23 (78%)

本学級の児童は、「自分から進んで外国語活動の授業に進んで参加しています。」の質問に対して100%の児童が肯定的に答えている。また、「外国語活動の授業では、英語を使う場面を考えながら活動しています。」の質問に対して91%の児童が肯定的に答えている。これらの事から、本学級の児童は、意欲的に外国語活動の学習に取り組んでいると言える。しかし、一方で「英語でやり取りや発表をする時には、自分の考えや気持ちなどを伝えています。」の質問に対しては、肯定的に答えた児童は、78%であった。このことを踏まえ、本単元での学習においては、自分の将来の夢について伝える際、既習の“I like ~.”や“I can ~.”などの表現を用いて、その職業に就きたい理由にあたる事についても述べさせるようにする。また、「英語でやり取り

をする時には、相手の言ったことにならずいたり、英語で返事したりしています。」の質問に対して、肯定的に答えた児童は78%であった。友達の将来の夢についての話を聞く際には、うなずいたり、“That’s nice!”や“Good luck!”などの反応ができるように意識させていく。

(3) 指導観

指導に当たっては、まず、児童に「自分の将来の夢について友達と伝え合う」というゴールイメージを持たせるために、単元の始めに教師が子供の頃の夢について紹介し、モデルを示す。児童に、「自分もやってみよう」「友達の将来の夢を聞いてみたい。」などという思いを持たせた上で、様々な職業の言い方について取り上げる。そして、世界の子供たちが語る将来の夢とその理由について映像を視聴し、将来の夢について話す際の基本的な表現に慣れさせる。また、これまでに学習した表現や新たに学んだ表現を用いて、将来の夢とその理由などについて、尋ねたり答えたりする活動を設定し、慣れ親しませていく。そして、これらの表現に音声で十分に慣れ親しませた上で、話す内容を整理して書かせ、それをもとに発表させる。単元の最後には、自分以外の誰かが書いた原稿を読んで、誰の原稿かを当てる活動を設定する。読む活動に入るまでに、本単元で扱う表現に音声で十分に慣れ親しませておき、児童が推測して読むことができるようにする。

2 単元の目標

- 積極的に自分の将来の夢について伝え合おうとする。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- どのような職業に就きたいかを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。 【外国語への慣れ親しみ】
- 将来の夢について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例を参考に書き写したりすることに慣れ親しむ。 【外国語への慣れ親しみ】
- 世界には様々な夢を持つ同年代の子どもがいることを知り、職業を表す語について英語と日本語との音声面等の違いを通して、言葉の面白さに気付く。 【言語や文化に関する気付き】

3 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
相手意識を持って、積極的に自分の将来の夢について伝え合おうとしている。	①どのような職業に就きたいかを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しんでいる。 ②将来の夢について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例を参考に書き写したりすることに慣れ親しんでいる。	英語と日本語との音声面等の違いを通して、言葉の面白さに気付いている。

4 単元のゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	自分が将来就きたい職業や夢などについて、やり取りや原稿を読むことを通して友達と伝え合う。
目指す児童の姿 (話すこと [やり取り])	A: What do you want to be? B: I want to be a pianist. A: Why? B: I like music. I am good at playing the piano. A: That’s nice. Good luck! How about you? What do you want to be?

目指す児童の姿 (書くこと)	I want to be a pianist. I like music. I am good at playing the piano.
-------------------	---

5 言語材料(下線は新出表現, 語彙)

主な表現	主な語彙
<u>What do you want to be?</u> <u>I want to be a (pianist).</u> I like (music). I can (play the piano well). I am good at (playing the piano). I want to (travel many countries). That's (nice). <u>Good luck.</u>	<u>be, luck, future</u> , 職業(<u>animal officer, architect,</u> <u>artist, astronaut, baker,</u> baseball player, basketball player, <u>bus driver, comedian,</u> cook, <u>dentist, doctor, farmer,</u> <u>flight attendant,</u> <u>game creator, hairdresser, nursery teacher,</u> patissier, <u>pianist, pilot,</u> singer, soccer player, teacher, voice actor, <u>writer, zookeeper</u>)

6 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本校で育成しようとしている資質・能力は以下の5点である。

- ①思考力 ②表現力 ③主体性 ④自分と他者を尊重する心 ⑤知識・理解

この中から、本単元において育成しようとする資質・能力について、つぎの4点に重点を置く。

②表現力

将来の夢について聞いたり言ったりする際に、既習事項からその場面に合った表現を選んで使うことを通して、自分の思いや考え伝えることができる。

③主体性

これまでに学習した表現や新たに学んだ表現を用いて、将来の夢とその理由などについて、尋ねたり答えたりする活動を行っていく中で、英語で自分の思いを伝える楽しさを実感し、進んで英語を使うことができる。

7 指導と評価の計画

(全6時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (○) 【 】 = 誌面化されている活動	評価規準 評価方法	表現例
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">課題の設定</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;">情報の収集</div> ◆教師の子どもの頃の夢について聞き, 将来の夢について紹介する表現を知り, 単元の見通しを持つ。 ○ Small Talk 教師の子どもの頃の夢について聞き, 単元のゴールイメージを持つ。	【気】 英語と日本語との音声面等の違いを通して, 言葉の面白さに気付いている。《行動観察・振り返りカード》	・ <u>I want to be a pianist.</u> ・ I like music. ・ I am good at playing the piano.

1	<p>○ 【Let's Watch and Think 1】 誌面を見て、知っている職業名について話し合い、英語での言い方を知る。 映像を見て、分かったことを話し合う。</p> <p>○ 【Let's Play】: Pointing Game 指導者が言う職業を聞いて、誌面にある職業の絵をペアで指し示す。</p> <p>○ 【Let's Chant】 What do you want to be?</p>	③主体性	
2	<p>情報の収集</p> <p>◆職業についてまとまった話を聞いて理解したり、就きたい職業を伝え合ったりする。</p> <p>○ Small Talk : 行きたい国とその理由</p> <p>○ Keyword Game</p> <p>○ 【Let's Watch and Think 2】 映像を見て、分かったことを話し合う。</p> <p>○Let's Talk : 自分の就きたい職業について、友達に尋ねたり答えたりする。</p> <p>○Let's Read and Write “I want to be a ~.” を、例文を参考にして書く。</p>	<p>【慣】 どのような職業に就きたいかを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しんでいる。《行動観察・振り返りカード》</p> <p>②表現力</p>	<p>• <u>What do you want to be?</u></p> <p>• I want to be a (vet).</p> <p>• <u>That's (good).</u></p> <p>• <u>Good luck!</u></p>
3	<p>情報の収集</p> <p>◆就きたい職業とその理由について考える。</p> <p>○ 【Let's Chant】 What do you want to be?</p> <p>○ 【Let's Watch and Think 3】 映像を見て、分かったことを話し合う。</p> <p>○ Matching game</p> <p>○ Let's Talk : 職業を選んだ理由について、I like ~. / I can ~. / I am good at~. / I want to ~. などの表現を用いて友達と伝え合う。</p>	<p>【慣】 どのような職業に就きたいかを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しんでいる。《行動観察・振り返りカード》</p> <p>②表現力</p>	<p>• What do you want to be?</p> <p>• I want to be a (vet).</p> <p>• I like(animals).</p> <p>• I can (play the piano well).</p> <p>• I am good at (playing the piano).</p>
4	<p>情報の収集</p> <p>◆就きたい職業とその理由について伝え合う。</p> <p>○ 【Let's Listen】 登場人物の夢の話を聞いて、分かったことを書く。</p> <p>○ 【Let's Chant】 What do you want to be?</p> <p>○ Matching game</p> <p>○ 【Activity】 p.61 将来就きたい職業とその理由について、ペア</p>	<p>【コ】 相手意識を持って、積極的に自分の将来の夢について伝え合おうとしている。《行動観察・振り返りカード》</p> <p>③主体性</p>	<p>• What do you want to be?</p> <p>• I want to be a (vet).</p> <p>• I like(animals).</p> <p>• I can (play the piano well).</p> <p>• I am good at (playing the piano).</p>

	<p>で伝え合う。</p> <p>○Let's Read and Write</p> <p>I like ~. / I can ~. / I am good at ~. / I want to ~.などの理由にあたる文を例文を参考にして書く。</p>		
5	<p>まとめ・創造・表現</p> <p>◆自分の将来の夢とその理由について書く。</p> <p>○【Let's Chant】What do you want to be?</p> <p>○ Matching game</p> <p>○【Let's Read and Write 1】</p> <p>前時までのワークシートを参考にして、大文字と小文字に気を付けているか、スペースに気を付けているかなどに注意して原稿を書く。</p>	<p>【慣】将来の夢について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語について、例を参考に書き写したりすることに慣れ親しんでいる。《行動観察・振り返りカード》</p> <p>②表現力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ I want to be a (vet). ・ I like(animals). ・ I can (play the piano well). ・ I am good at (playing the piano)
6 本 時	<p>まとめ・創造・表現 振り返り</p> <p>◆将来の夢について書かれた原稿を読み、内容が分かる。</p> <p>○【Small Talk】：将来就きたい職業とその理由</p> <p>○ Matching game</p> <p>○ Let's Read：配付されたクラスの中の誰かの原稿を読み、内容についてグループで交流する。</p>	<p>【慣】将来の夢について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読むことに慣れ親しんでいる。《行動観察・振り返りカード》</p> <p>③主体性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ I want to be a (vet). ・ I like(animals). ・ I can (play the piano well). ・ I am good at (playing the piano)

8 本時の指導計画

(1)目標

将来の夢とその理由について伝え合ったり、友達の前稿を推測しながら読み、内容について話し合ったりする。

(2)評価規準

将来の夢について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読むことに慣れ親しんでいる。
【外国語への慣れ親しみ】

(3)準備物

電子黒板，絵カード，ワークシート，振り返りシート

(4)展開

児童の学習活動	指導者の役割		・指導上の留意点 評価規準 教科の指導事項 (○) 資質・能力 (★) (評価方法)
	T1	ALT	
1. 挨拶をする。	T1: Hello. T1: How are you? (全体へ聞いた後、 何人かの児童に尋ねる。) ALT: How is the weather today? ALT: What day is it? ALT: What is the today's date?		反応を促しながら、ゆっくり、はっきりと挨拶をする。
2. Small Talk “What do you want to be?” ・ペアを替えて複数回対話をする。	A: What do you want to be? B: I want to be a ~. A: Why? B: Because, I like ~. / I can ~. / I want to ~. / I am good at ~. A: I see. That's nice. Good luck!		前時までに行ったやり取りを扱い、表現の復習と定着を図る。 ★主体性 将来の夢とその理由などについて、尋ねたり答えたりする活動を行っていく中で、英語で自分の思いを伝える楽しさを実感し、進んで英語を使おうとしている。(行動観察)
3. 語句の復習をする。 ・ Matching game	復習のためのゲームであることを伝える。	ゲームを始める前に、復習として、それぞれの語を発音して聞かせる。	机の上に置かれたカードの中から2枚選び、語と意味が書かれたカードを揃えさせる。
4. 単元の流れを振り返り、本時の学習課題を確認する。	単元のゴールと流れを振り返り、本時の課題を提示して学習の見通しを持たせる。		単元の流れが分かるポスターを掲示し、本時の学習の位置づけが分かるようにしておく。
将来の夢について書かれた原稿を読み、その内容について話し合おう。			
5. ALTの子どもの頃の夢について聞いたり原稿を読んだりし、その内容について話し合う。 ・ALTが読む内容を聞き取る。(音声のみ)	聞き取るポイントを示し、誰の原稿かを考えながら聞くようにさせる。	文章をゆっくり読んで聞かせる。	
		ALT: I want to be a police officer. I like police uniform. It's cool. I want to help people.	

<ul style="list-style-type: none"> ・内容についての質問に答える。 ・音声を聞きながら指で追う。 (文章を提示) ・教師が発音した語を文章の中から見つける。 ・ALTの後に続いて、繰り返して言う。 	<p>T1: This person said, I want to be a ...? Yes, that's right. She wants to be a police officer. She likes ~? Yes, she likes police uniform. She wants to? Yes, she wants to help people.</p>	<p>原稿を配付する。</p> <p>再度、ゆっくり読んで聞かせる。</p>	<p>内容の確認については、できる限り英語でのやり取りを通して行う。難しいところは、日本語で補足する。</p> <p>一通り読んだり、内容について話し合ったりした後、誰が書いた原稿かを考えさせる。</p>
<p>6. クラスの中の誰かが書いた原稿を推測しながら読み、分かった事をグループで交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人で読み、分かったことについてワークシートへ記入する。 ・分かったことをグループで交流する。 ・誰が書いた原稿かを推測し、その人へ返却する。 	<p>誰が書いた原稿か分からない状態にして、ワークシートを全体へランダムに配付する。</p>	<p>机間巡視し、支援が必要な児童へ対応する。</p>	<p>読むことに困難を示している児童については、T1やALTが個別に対応し、語を発音して音を聞かせる。</p> <p>○【慣】将来の夢について簡単な語句や表現で書かれた英語を推測しながら読むことに慣れ親しんでいる。(行動観察・振り返りカード)</p>
<p>7. ふりかえりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 	<p>本時のねらいに照らして全体に共有しながら、児童の評価をする。</p>		<p>何人かに発表させる。</p>

(5) 板書計画

天気	Thursday	December	13th	将来の夢について書かれた原稿を読み、その内容について話し合おう
絵カード (職業)				反応 WORDS
				I want to be a ~.
				I like ~.
				I can ~.
				I am good at ~.
				I want to ~.